

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)博多区博多駅前4丁目オフィスビル計画 新築工事	階数	地上7F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目125番外	構造	S造
用途地域	都市計画区域内(市街化区域)、準防火地域	平均居住人員	150 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年7月13日
敷地面積	1,219 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社IAO竹田設計 九州事務所 村岡 真穂
建築面積	996 m <sup>2</sup>	確認日	2022年7月13日
延床面積	6,394 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社IAO竹田設計 大阪事務所 山口 隆幸



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.8**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.2**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項	
<b>総合</b> 建物外皮の熱負荷抑制に努め、省エネルギーに配慮している	<b>その他</b> 特になし
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆☆の建材を使用し、空気質環境に配慮している	<b>Q2 サービス性能</b> リフレッシュスペースを広く取り、使用者の心理性・快適性の向上に配慮している
<b>LR1 エネルギー</b> 建物の断熱性能を高め、熱負荷抑制に努めるよう配慮している また、設備を高効率化し、エネルギー消費量の低減を図っている	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ノンフロン断熱材を採用し、汚染物質含有材料を使用しないよう配慮している
	<b>LR3 敷地外環境</b> 適切な駐輪・駐車スペースの確保、周辺の渋滞緩和に資する設計により交通負荷抑制に配慮している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される